

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	どんぐりの樹			
○保護者評価実施期間	令和 7 年 4 月 1 0 日		～	令和 7 年 4 月 2 4 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	9
○従業者評価実施期間	令和 7 年 4 月 1 0 日		～	令和 7 年 4 月 2 4 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 4 月 2 8 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童同士仲がよく、児童たちが通所を楽しみにしてくれていること。	楽しい施設作りまたは児童たちが楽しい時間が過ごせるよう職員同士で常にそういった工夫を取り組んでいる。	楽しいと思って通所を今後もしていただけるよう、本児のニーズを含め家族のニーズを聞き、日々の支援に今以上取り組んでいく。
2	地域の障がい福祉イベントを開催し、事業所同士がつながりをもてたり、他の事業所紹介をSNSで行い、利用者様、保護者様が様々な地域の福祉事業所を知ることができることと、進路に向けて他事業所と連携を図っている。	4/4に北は高石市から南は岬町までの障がい福祉事業所にお声かけし、泉南市の泉南ロングパークマルシェエリアにて福祉イベント「チャレンジまつり2025」を開催した。他事業所との交流や保護者同士の交流をすることができた。希望する児童には本イベントの計画段階から児童も参加し、イベントを作る体験をすることができた。	今後もこういったイベントを開催し、他事業所との交流、連携を図り地域の障がいをお持ちの方々が暮らしやすい生活を目指す。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設ける機会が少ない点	地域の児童発達支援センターと接することが今までなかった。	助言や研修を受ける機会を増やすせれるよう努力する。
2	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加できていない点	協議会へ参加する時間が取れなかった。	地域の協議会へ参加できるよう、業務の効率化を図り、協議会等へ参加できるよう努力していく。
3	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されているか、また発声を想定した訓練が行われているかという点	マニュアルは策定しているが、周知の部分が不十分だった。	今後、マニュアルを周知する時間等を取れるよう、業務の効率化を図り、全体周知ができるよう努力していく。